

主催：一般社団法人蔵前工業会

共催：国立大学法人東京工業大学

東京工業大学火山流体研究センター

一般社団法人 **蔵前工業会**



## 第33回蔵前科学技術セミナー

# 「活発化する火山列島・日本」～東工大の取り組み～

一般社団法人蔵前工業会（東京工業大学同窓会）は科学技術および産業の進歩発展を支援する活動を行っています。この度、日本における火山活動に関わる東京工業大学の観測研究の歩みと成果を発表することとなりました。火山列島である我が国は、火山の恵みを享受する一方、噴火による災害を度々経験してきました。今回のセミナーは、木曾御嶽の水蒸気爆発や草津白根山などの活発化、あるいは富士山噴火の話題に関わる最新の知見を提供し、活発化する火山列島・日本の現状を俯瞰把握する企画です。万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。



記

1. 日 時 2015年10月24日（土）

講演会：13:00～17:40（受付開始 12:30）、交流会：17:45～19:30

2. 場 所 東工大蔵前会館 1階くらまえホール

交流会ロイヤルブルーホール（最寄駅：東急目黒線・大井町線 大岡山駅 下車1分）

3. 講演内容

講演1：「活発化する火山列島序論」

草津白根火山観測所長・教授 小川 康雄 氏

プレートテクトニクスとマグマの発生、火山の噴火様式に関する基本的な概念について概説する。

講演2：「我が国における火山研究と東工大の果たしてきた役割」

火山流体研究センター教授 野上 健治 氏

東工大草津白根火山観測所は本年で設立30年を迎える。本学の火山観測研究の歩みと成果を紹介する。

講演3：「電磁場から探る火山の内部」

火山流体研究センター准教授 神田 径 氏

火山噴火を理解するために火山体の内部構造は不可欠な情報である。電磁場を利用した地下構造探査法について事例を交えて概説する。

講演4：「空中と地中から探る火山の内部～御嶽山噴火・草津白根山の活発化」

火山流体研究センター講師 寺田 暁彦 氏

草津白根山の活発化を如何に捉えたか、接近不可能な御嶽山の噴火口を如何に観測したか、について実例を紹介する。

講演5：「富士山は噴火するか」

理工学研究科地球惑星科学専攻教授 高橋 栄一 氏

東工大で進めつつある富士火山のマグマだまりの実験的再現と過去1万年間の活動史をもとに富士火山の将来の噴火活動について議論する。

4. 会 費 講演会は無料。交流会参加費は一般 3,000円（当日支払）、学生・生徒は無料。

5. 申 込 下記URLを開き、申込フォームに必要事項を記入の上、申込みください。

申込みは 2015年10月20日（火）までようお願い申し上げます。どなたでも参加できます。

[https://www.kuramae.ne.jp/kagakugijutsu\\_seminar\\_entry/](https://www.kuramae.ne.jp/kagakugijutsu_seminar_entry/)

以上